

2008 年度

科目名 英語学演習 2	対象学科・学年 文学部英米3 回生	担当者 田畑 智司
授業テーマ 英語のスタイルを感じ取る（応用編）		
授業の概要と目標 新聞、広告、小説、ビジネス文書、公文書、E メール、ブログ、大統領就任演説、ホワイトハウスの記者会見、製品発表キートンスピーチ、などなど様々なジャンルの英語を分析対象に、言語学と情報科学の知見を応用して、いかなる英語のスタイルが選択・使用されているか、また、その理由や、効果はどのようなものかを感じ取る鑑賞眼を養う。		
評価方法 学期末試験の成績、および授業中の積極的な発言、発表により評価する。その他、随時リポートを課し、その内容も考慮する。		
テキスト 『英語の作法—The Art of English—』	著者 斎藤 兆史	出版社 東京大学出版会
参考書 『小説の文体—英米小説への言語学的アプローチ』	著者 笥 寿雄(監訳), 石川 慎一郎(訳), 広野 由美子(訳), 瀬良 晴子(訳)	出版社 研究社
授業スケジュール・内容 1. スタイルとアイデンティティ 2. 著者推定論 1 3. 著者推定論 2 4. スタイルと言語使用域 1 5. スタイルと言語使用域 2 6. 新聞のスタイル 7. 学術文書のスタイル 8. サイバースペースのスタイル (e メール, ブログ, etc.) 9. 説得術としてのスタイル 1 (演説) 10. 説得術としてのスタイル 2 (製品発表会) 11. 批評的 (批判的) 談話分析 1 12. 批評的 (批判的) 談話分析 2 13. 小説のスタイル 14. 創造的言語使用を鑑賞する 15. Round up Part 2		